

山形県 自家用自動車

定価1部・20円
 会員の購読料は会費に含まれております
 発行所
 山形市大字遠山字行段1422
 一般社団法人
 山形県自家用自動車協会
 電話023 (686) 3951
<https://www.y-jikayo.or.jp>
 印刷/榊野林印刷所

10月から来年2月まで

「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」展開中!

国土交通省

国土交通省は平成30年度より、大型車の車輪脱落事故防止のための緊急対策を策定し積極的に取り組んでいますが、令和4年度の事故発生件数は140件(前年度比17件増)と依然として多くの車輪脱落事故が発生していることを踏まえ、大型車の車輪脱落事故防止を令和5年度緊急対策を取りまとめ、脱着事故防止に向けた取組を推進しています。

- ①作業日程及び作業時間に余裕を持った計画的なタイヤ脱着作業を実施すること。
- ②大型車のタイヤの脱着作業は、正しい知識を有した者に実施させること。
- ③著しく錆びたホイール・ボルトやホイールナット、ディスク・ホイールでは、適正な締付力が得られないため、タイヤ脱着作業時に点検清掃や潤滑剤の塗布を行うこと。

④増し締めをやむを得ず車載工具で行う場合の実施方法を確認していただくこと。

⑤タイヤ脱着作業時の作業確認及びタイヤ脱着作業後の日常点検を、車輪脱落事故防止のため「おとささない」のポイントを心がけ実施すること。

国土交通省は、適切なタイヤ脱着作業や保守管理手順をいつでも確認できるように、解説動画を作成し公開しています。

大型車の車輪脱落事故は例年10月以降の冬用タイヤへの交換時期に多く発生していることから、令和5年10月から令和6年2月末までを、大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンとして全国的に展開し、大型車の車輪脱落事故防止対策の徹底を図る取組を強化していくとしています。

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

防ごう 大型車の車輪脱落事故

危険!

おとさめないための点検整備

動画をチェック!

トルクレンチで適正締付

錆びたナットは清掃・交換

ナット・ワッシャー隙間に給脂

いちにち一度は細目の点検

令和5年度「飲酒運転撲滅・冬の交通安全県民運動」

県交通安全対策協議会

令和5年度「飲酒運転撲滅・冬の交通安全県民運動」が、12月11日(月)から12月20日(水)までの10日間実施されます。

冬季は積雪や路面凍結、悪天候時の視界不良等により道路環境が著しく悪化し、交通事故が多発する時期となるほか、飲酒の機会が多くなり、飲酒運転による交通事故の発生が懸念されます。本運動は、県民一人ひとりに冬道の安全運転と飲酒運転の危険性について周知し、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施されます。

今年度の運動の重点及び推進事項は次のとおりです。

運動の重点	推進事項
1 悪習・危険な飲酒運転の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> ○飲酒運転を絶対に「しない、させない、許さない」意識の徹底 ○家庭、職場、地域から飲酒運転者を出さない広報啓発 ○飲酒全合等における運転者への酒類提供禁止の徹底及びハンドルキーパー運動の促進
2 冬道でのスリップ事故防止及び早めのライト点灯・ハイビームの積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> ○冬タイヤへの適正な交換等、冬道装備の徹底 ○路面状況に応じた安全運転徹底 ○早めのヘッドライト点灯とこまめな切り替えによるハイビームの積極的活用(ハイビームは10m先までしか照射できないがハイビームは100m先まで照射可能) ○地吹雪や濃霧等、悪天候や視界不良時の積極的な昼間ライト点灯 ○道路の積雪や凍結時は自転車乗車を控えるなど、自転車の安全利用の徹底
3 夕暮れ時からの横断歩行者事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○横断歩道における歩行者優先義務等の運転者の交通ルール遵守の徹底 ○横断歩道の利用、車両の直前直後横断の禁止、斜め横断の禁止、信号に従う等の歩行者の交通ルール遵守の徹底 ○夕暮れ時における車も自転車も早めのライト点灯の促進(歩行者等に車両の存在を知らせる。) ○夕方からの外出時における明るい色の衣服と夜光反射材着用の徹底

交通安全「互いに守る 思いやり」県民運動



- #### 冬道の安全運転5則
- ①スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
 - ②車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
 - ③急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
 - ④視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
 - ⑤危険がいっぱい。道越しはしない。

大型車の車輪脱落事故が過去最多!

東北地域の令和4年度に発生した大型車の車輪脱落事故発生件数は、54件と過去最多を記録し、全運輸局別発生件数もワースト1の状況となっています。

これから冬用タイヤの交換作業時期となります。タイヤ交換時の適正な作業一定距離走行後の増し締めのほか、日常点検を確実にし、車輪脱落

過去5年間の車輪脱落事故発生件数

	H30	R1	R2	R3	R4
東北管内	26	48	43	45	54
山形県	3	14	9	9	14

出典:自動車事故報告規則に基づく報告書及び自動車メーカーからの報告

◇東北運輸局管内の令和4年度大型車の車輪脱落事故の発生状況

- ✓ 事故発生件数は54件(前年度比9件増)
- ✓ 54件のうち車輪脱落作業後1ヶ月以内に発生したものが27件
- ✓ 全体の約99%は大型貨物自動車によるもの
- ✓ 車輪脱落箇所は左後輪に集中している
- ✓ 山形県は14件で東北内発生件数ワースト1

※大型車:車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

東北運輸局

秋の交通安全運動期間中の死者は全国で63人、警察庁は、令和5年度秋の全国交通安全運動期間中(9月21日から9月30日)の交通事故発生状況を公表しました。

死者数は63人で前年の運動期間中より20人(24.1%)減少しました。このうち、65歳以上の高齢者は33人で、全体に占める割合は52.1%となっています。

状態別では、自動車乗車中が20人(全体の31.7%)、歩行中が17人(同27.0%)、自転車乗用中が16人(同25.4%)、二輪車乗車中が10人(同15.9%)などとなっています。歩行中死者17人のうち11人が高齢者でした。

県内では運動期間中の人身事故発生件数は72件(前年同期比8件減少)、死者数はゼロ(同1人減少)、負傷者数は85人(同8人減少)といずれも減少しました。

「マイカー点検フェスティバル2023」を開催

県自動車適正管理推進協議会

山形県自動車適正管理推進協議会は、10月14日(土)と15日(日)の2日間、山形市の国際交流プラザ(山形ビッグウイング)において、マイカー点検フェスティバル2023を開催しました。

このフェスティバルは、東北運輸局山形運輸支局の後援、独立行政法人自動車技術総合機構山形事務所、軽自動車検査協会山形事務所の協力のもと協議会加盟の自動車関係14団体が主催し、マイカーの点検・整備の必要性等を啓発するとともに、自動車使用者における保守管理意識の高揚及び環境問題への関心を高めることを目的として、山形県主催の「やまがた環境展2023」と同時開催したものです。

マイカーの無料点検や相談、子供免許証の発行、エコカーのペーパークラフト作成体験などのブースを設置して行われたほか、県内の図柄ナンバープレートや自動車の新旧部品の展示も行われました。マイカー無料点検では、

エンジオイルや冷却水の点検、ウインドウウォッシャー液の残量や噴射状態の点検、タイヤの空気圧や傷などの点検、灯火類の点検など14項目について点検を実施し、自動車ユーザーに点検結果に基づいたアドバイスを行い、日常点検の重要性について理解を深めていただきました。

今回のフェスティバルでは、無料点検は延べ22台の車を点検、子供免許証は延べ480枚を発行、ペーパークラフトは延べ31



3件の作成となりました。

地球と走ろう！環境にやさしいエコドライブで！

11月はエコドライブ推進月間

警察庁・経済産業省・国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会は、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」として、シンポジウムや全国各地のイベントなどを通してエコドライブの普及・推進を図っています。

エコドライブは、燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につながる「運転技術や心がけ」です。また、ゆっ

くり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとることなどにより、運転にゆとりが生まれ、安全運転にもつながります。

- ～エコドライブ10のすすめ～
1. 自分の燃費を把握しよう
 2. ふんわりアクセル「eスタート」
 3. 車間距離にゆとりをもつて、加速・減速の少ない運転
 4. 減速時は早めにアクセルを離そう
 5. エアコンの使用は適切に
 6. ムダなアイドリングはやめよう
 7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
 8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
 9. 不要な荷物はおろそう
 10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

信号機のない横断歩道での一時停止率 山形県53.6%・全国14位

一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

一般社団法人日本自動車連盟(JAF)は、本年8月から9月にかけて信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査を実施し、その結果を公表しました。

調査は、各都道府県2箇所ずつ、全国合計94箇所、信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両7,087台を対象に実施され、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は3,193台停止

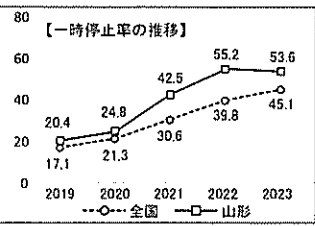
率で45.1%と過去最高になりました。ただし、前年より5.3ポイント増加したものの、いまだに約半数の車が止まらない状況です。

山形県の停止率は53.6%、対前年比1.6ポイント減で、昨年より4つ順位を下げ全国第14位となりました。

交通ルールでは、横断歩道における歩行者優先を定めています。本来、車両が横断歩道を通過するときは横断しようとする歩行者がいる場合には、横断歩道の直前で一時停止し、通行の妨げをしないようしなければなりません。また、横断しようとする歩行者がいけないことが明らかの場合を除き、横断歩道の手前で停止できるようにあらかじめ速度を落とす

【停止率上位10県】

順位	県別	停止率
1	長野	84.4%
2	石川	76.4%
3	栃木	74.8%
4	熊本	66.1%
5	岐阜	65.4%
6	静岡	63.9%
7	宮崎	63.6%
8	愛知	61.2%
9	山梨	61.0%
10	福島	60.8%
14	山形	53.6%
全国平均		45.1%



トヨタ「プリウス」がファイブスター賞を獲得!!

2023年度自動車アセスメントによる最初の評価結果を公表

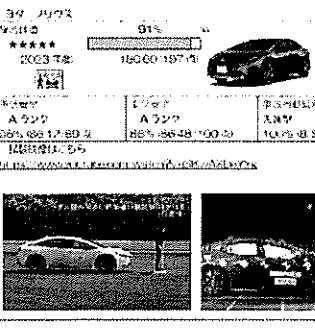
国土交通省とナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)が自動車の安全性を評価・公表する「自動車アセスメント」において、トヨタ「プリウス」が最高評価の「ファイブスター賞」を受賞しました。

今年度より、「ダブル踏み間違い時加速抑制装置」の評価に、歩行者との事故に対応した評価を新たに導入するとともに、車内子ども置き去り防止支援装置に関する情報提供(※1)を始めます。

なお、Web上で試験映像が公開されています。※1対象装置ありの場合、マーク(標)を表示

トヨタ「プリウス」は、性能評価、衝突安全性評価共に最高の「5つ星」を獲得。

◆事故発生時にエアバッグ展開と連動し、専門のオペレータを通じて自動通報



県内に新たな二道の駅2駅がオープン!!

国土交通省・山形市・最上町

県内に新たに開設される道の駅の開業日が発表されました。「もがみ」が11月26日(日)、「やまがた蔵王」が12月3日(日)の開業となります。

「もがみ」は、国道47号最上町志茂地区に、最上町と国土交通省で令和4年度から整備を進めてきました。物販施設、情報提供施設、観光案内所のほか休憩施設や交流スペースを備えておられます。

一方「やまがた蔵王」は、国道13号山形市表蔵王地区内に山形市と国土交通省で令和元年度から整備を



☆9月総合計10.3%増(13ヶ月連続増加)

9月の県内新車登録・届出数

山形県の9月における新車新規登録・届出数は、総合計4,630台で前年同月比10.3%増と令和4年9月以降13ヶ月連続の増加となっています。

○登録自動車は合計で11.4%の増となり、乗用車全体では11.0%増と9ヶ月連続しての増加となります。うち普通車が13.9%の増加となり、小型車は7.6%の増加となっています。貨物車全体では23.1%の増と3ヶ月連続の増加に対し、その他の

バス・特種等は14.5%の減少と8ヶ月ぶりの減少となりました。

○軽自動車は9.2%増と2ヶ月連続の増加、小型二輪車は2.0%減と2ヶ月ぶりの減少となりました。

別表 9月新車新規登録・届出数

	5年9月	前年同月	増減	率
乗用車	1,210	1,062	148	13.9
普通	967	899	68	7.6
小型	2,177	1,961	216	11.0
貨物	293	238	55	23.1
その他	65	76	-11	-14.5
計	2,535	2,275	260	11.4
軽自動車	2,046	1,873	173	9.2
小型二輪車	49	50	-1	-2.0
総合計	4,630	4,198	432	10.3

注1) 乗用車・普通は5ナンバー、乗用・小型は6ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他は2又は3、特種用途車等である。
注2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの登録数